

【宮古市地球温暖化対策地域協議会施設見学会取材報告】

開催日：令和元年 11 月 27 日（土） 13：00～16：15

参加者：一般 12 名

冒頭会長より、出来ることから始めましょう。Eco という言葉も忘れてしまっている。人のためということではなくみんなが自分事として行うことが大事と話されました。

世界のごみ処理場

アメリカ：351、フランス：188、ドイツ：154、イギリス：54、スウェーデン：28

日本：1243 一番多いのは日本です。このことをどうとらえるのか？施設が多いからよいということではない（一番ごみが多いという事）。

岩手県のひとり一日当たりのごみ排出量 921g、宮古市は 1120g です。

現在は台風 19 号の災害ごみ処理を進めているため見学はできない。

一日平均排出量⇒目標に達していない。

リサイクル量⇒目標に達していない

生ごみの人絞り運動実施。

分別の徹底を行っている。

会長のお話を聞きながら移動する事 15 分位のところに施設がありました。

①宮古清掃センター

●ビデオ 17 分視聴

ごみの行方、循環型社会をつなぐために

物を大切にする、ごみを分別することが大切

●清掃センターから排出される CO₂ について

ごみを燃やす CO₂ 燃やすごみを減らすことによって CO₂ を減らすことができる。

燃料 A 重油 CO₂ 年間 800 万～900 万かかっている。

電気使用 CO₂ プラントのモーターが大きな電気を使用

平成 27 年には大規模設備の更新でモーターを買い替え 20%～30%の電力を削減した。

清掃センターが出来た当初には燃やせるごみ中から出てきたものの中に、大型の鉄の土台や、大型のこぎりの刃、大きな石、お金等があったようです。



②宮古広域リサイクルセンター

【アルミ缶とスチール缶の分別】（アルミ缶は軽いので飛ばしてスチールと分別する機械を使用している）

【瓶の分別】無色、茶色、その他に分けている。

【ペットボトルや容器包装関係】容器包装リサイクル協会へ流れていき、国内で処理される。（販売することとリサイクルがセットになっているとのこと）国外へ輸出されるペットや容器包装は産業廃棄物とのお話しであった。

【マイクロプラスチック】もとから商品の段階で入っている歯磨き粉、洗顔フォームなどあるが、海へ流れ着いて紫外線による劣化でマイクロプラスチックとなっているものがある。海への漂着物とならないようリサイクルをきちんと行うことが大切。プラスチック関係はリサイクルのほかサーマルエネルギーとしての活用もしている。

【リチウムイオン電池】発火などの危険があるため回収はケーズ電気ホームマックなどの回収場所に出す。

蛍光管については水銀が使用されているため北海道の業者へ回収してもらっている。ごみは指定のごみ袋できれいに回収されておりました。

●再利用・再使用できるものについては年6回のフリーマーケットなども実施。

